

自動ドアの安心・安全・快適を求める『自動ドア開閉監視』

■課題

自動ドアは継続的な維持管理のために、定期的に担当者が現場に出向き確認・点検を行っていますが、人的作業のため効率的なメンテナンスで人材不足の対処が急務となっている。

■概要・期待効果

自動ドアから得られる接続機器の稼働状態、開閉回数などをデータ取得して活用することで、現場から離れた場所でも自動ドアの利用状況がリアルタイムに可視化でき、機器や設備の予防保全や保守サポートの効率化が図れます。また、夜間の人の出入りが把握でき、防犯対策に繋がります。

